

平成29年度

第1回 指定管理者選定評価委員会

平成29年7月24日

千葉市教育委員会

1 日時：

平成 29 年 7 月 24 日（月） 18 時 00 分～19 時 15 分

2 場所：

千葉市教育委員会事務局 新宿公民館

（千葉市中央区新宿 2 丁目 16-14）

3 出席者：

（1）委員

近藤葉子委員（会長）、中原秀登委員（副会長）、尾形雅之委員、岡村健司委員、
宮野モモ子委員

（2）事務局

ア 教育総務部

大野部長

イ 生涯学習部

大崎部長

ウ 総務課

國方課長、大須賀課長補佐、高桑総務班主査、鈴木主事

エ 生涯学習振興課

山田課長、田島課長補佐、西森主査、野中主任主事、渡辺主事、永野主事

4 議題：

（1）会長及び副会長の選任について

（2）千葉市生涯学習センターにおける指定管理者の施設管理に係る年度評価について

5 議事の概要：

（1）会長及び副会長の選任について

千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例（平成 22 年千葉市条例第 7 号）第 9 条第 2 項の規定により、委員の互選により、近藤委員を会長に、中原委員を副会長に、それぞれ選任した。

(2) 千葉市生涯学習センターにおける指定管理者の施設管理に係る年度評価について

千葉市生涯学習センターの指定管理者の施設管理に係る年度評価について、事務局から説明があり、審議。後日、審議の内容を基に事務局が答申案をまとめ、各委員の意見を聴取した上で、会長の承認を経て本委員会の答申とすることとした。

6 その他

今回の選定結果の反映及び来年度の業務に関するスケジュールについて事務局から説明があった。

7 会議経過：

○大須賀総務課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまより、平成29年度第1回千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会を開会いたします。

私は本日の司会を務めさせていただきます教育委員会総務課課長補佐の大須賀と申します。どうぞよろしく願いいたします。

本日の会議でございますが、5人の委員全ての方にご出席いただいておりますので、会議は成立しております。

また、市の情報公開条例第25条に基づき、会議は公開されております。

それでは、開会に当たりまして教育総務部長の大野からご挨拶を申し上げます。

○大野教育総務部長 教育総務部長の大野でございます。

委員の皆様方には、本日は大変お忙しい中、千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会にご出席していただきまして誠にありがとうございます。

本市では、指定管理者の選定過程の一層の公平性や透明性を図るため、平成22年3月に「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」を定めまして、財務や法務の専門家や学識経験者の皆様によって構成される当委員会を設置させていただきました。

昨年度は、委員の皆様のご尽力により当選定委員会において選定していただいた結果に基づき、指定管理者を指定することができました。また、指定管理者が行った施設管理について、適正な評価をしていただくとともに、有用なご意見、ご提案をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

本日は、生涯学習センターの指定管理者の行った施設管理に係る年度評価についてお願いするものであります。委員の皆様には、大変お手数をおかけしますが、今年度も豊富なご経験と高いご見識によりご審議いただきますようお願い申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いたします。

○大須賀総務課長補佐 続きまして、委員の皆様をご紹介します。

本日は第1回目の会議でございますので、ご就任いただきました委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

それでは、皆様、お手元の委員名簿をごらんください。名簿の順にご紹介させていただきます。

最初に、弁護士でいらっしゃいます尾形雅之委員でございます。

次に、公認会計士でいらっしゃいます岡村健司委員でございます。

次に、元社会教育委員の近藤葉子委員でございます。

次に、千葉大学法政経学部教授でいらっしゃいます中原秀登委員でございます。

最後に、放送大学特任教授、千葉学習センター長でいらっしゃいます宮野モモ子委員でございます。

よろしくお願いたします。

それでは、会議を開催させていただきます。

なお、会長が決定するまでの間、大野教育総務部長が仮議長を務めさせていただきますと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○大須賀総務課長補佐 それでは、大野教育総務部長、議事進行をお願いします。

○仮議長 ご承認いただきましたので、仮議長として会議の進行を務めさせていただきます。

それでは、議題に入らせていただきます。

議題（1）の「会長及び副会長の選任」を行いたいと思います。

会長の役割といたしましては、本委員会の議長を務めていただくほか、会議の招集等、会を代表させていただきます。

副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理していただく役割でございます。

なお、会長及び副会長の役職の任期は各年度末までとされております。

千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第9条第2項により、会長及び副会長につきましては、委員の皆様のご互選により選出することとなっておりますが、どなたか立候補または推薦等される方はいらっしゃいますでしょうか。

○尾形委員 会長は、昨年も会長でいらっしゃいました近藤委員に引き続きお願いしてはいかがでしょうか。

また、副会長は、会長が推薦するという事としてはいかがでしょうか。

○仮議長 ただいま、会長には近藤委員を、副会長は会長が推薦するとのご意見いただきましたが、皆さん、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○仮議長 委員の皆様からご賛同いただきましたが、近藤委員、よろしいでしょうか。

○近藤委員 承知いたしました。

○仮議長 ありがとうございます。それでは、会長につきましては、近藤委員に決定させていただきます。よろしく願いいたします。

続きまして、副会長を近藤会長からご推薦いただきたいと思います。

近藤会長、お願いします。

○近藤会長 それでは、推薦させていただきたいと思います。

副会長には、昨年度も副会長でいらした中原委員に引き続きお願いしてはと思います。

〔「賛成です」と呼ぶ者あり〕

○仮議長 それでは、副会長は中原委員に決定させていただきます。

○仮議長 それでは、ここで会長、副会長が選出されましたので、今年度ご審議いただく案件等について、会長へ諮問させていただきます。

本日ご審議いただくのは、そのうちの一つの「千葉市生涯学習センターにおける指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について」でございます。

(諮問書手交)

○仮議長 それでは、これまで仮議長を務めさせていただきましたが、ここで議長を近藤会長と交代したいと存じます。

近藤会長、よろしく願いいたします。

○近藤会長 それでは、次第に従いまして議事を進行してまいります。

議題(2)「千葉市生涯学習センターにおける指定管理者の施設管理に係る年度評価について」に関し、事務局から説明をお願いします。

○大崎生涯学習部長 生涯学習部長の大崎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

平成28年度の千葉市生涯学習センターの評価概要につきまして、ご説明をさせていただきます。

まず、公の施設の基本情報についてですが、施設名称は千葉市生涯学習センター、条例上の設置目的、ビジョン・ミッション、制度導入により見込まれる効果につきましては、お手元の資料の記載のとおりでございます。

成果指標、数値目標は、各番号が対応しておりまして、まず成果指標の①市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供するについては、数値目標として延べ受講者数3万5,000人を設定しております。

成果指標②学習成果が「生きる」地域づくりを進めるの数値目標は、ボランティアの受け手と仕手との橋渡しを行うボランティアコーディネート件数260件と設定しております。

成果指標③学びを「支える」環境づくりを進めるの数値目標は、施設利用率55%を設定しており、施設利用率につきましては、使用時間区分ごとに使用・未使用の判定をしており、具体的には1日のうち使用時間区分が4区分ある部屋で1区分の利用があった場合は当該利用率は25%としております。

次に、指定管理者の基本情報についてですが、指定管理者名は公益財団法人千葉市教育振興財団、指定期間は平成28年4月1日から平成33年3月31日までとなっております。選定方法は非公募であり、その理由につきましては記載のとおりでございます。

管理運営の成果・実績の成果指標に係る数値目標の達成状況についてですが、1つ目の成果指標、市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供するは、講座やイベント等の実施回数の増加によりまして、平成28年度は延べ3万7,355人が受講し、達成率は106.7%となっております。

2つ目の成果指標、学習成果が「生きる」地域づくりを進めるについては、ボランティアコーディネート件数が昨年度を3件上回る231件にとどまっており、達成率は88.8%となっております。

3つ目の成果指標、学びを「支える」環境づくりを進めるは、施設利用料金の柔軟な設定や利用者アンケートの反映等によりまして、施設利用率は58.2%となり、達成率は105.8%となっております。

収支状況の(1)必須業務収支状況についてですが、収入は表の一番下の項目の合計で5億9,714万7,000円で、計画比で約275万円の増となっております。主な要因は、施

設利用率の増によるものでございます。

次に、支出は、5億8,313万2,000円で、計画比約1,126万円の減となっております。主な要因は、本社費・共通費が計画比約910万円の増となっておりますが、定年退職に伴う人事異動や給与改定によりまして人件費が計画比で約835万円の減、管理委託料の減により委託費が計画比約960万円の減となったことなどによるものでございます。

次に、(2)の自主事業収支状況についてですが、収入は309万4,000円で、実施事業数の増加により前年度比約120万円の増となっております。

また、支出は315万8,000円となっており、人件費、事務費の減により、前年度比約500万円の減となっております。

(3)の必須業務と自主事業を合わせました収支状況につきましてはご覧のとおりで、収支は1,395万1,000円の黒字となっております。

次に、管理運営状況の評価の(1)管理運営による成果・実績についてですが、延べ受講者数及び施設利用率の2項目について、市設定の数値目標の105%以上を達成しておりますのでBとしております。

(2)の市の施設管理経費縮減への寄与についてですが、指定管理料支出が選定時の提案額と同額でございましたので、市の評価はCとしております。

次に、(3)管理運営の履行状況についてですが、選定時の審査項目を評価項目として、指定管理者と市がAからEの5段階でそれぞれ評価を行っております。

まず、モニタリング項目の年間の点数の算出ですが、平成28年度指定管理者モニタリングレポートに記載のモニタリング項目の確認結果に基づきまして、以下の基準により点数を算出しております。その上で、平均値の算出として、評価項目ごとにモニタリング項目の点数の平均値を算出し、AからEまでの評価をしております。

評価のCがおおむね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていたと評価するものでございまして、それを上回るBの評価をした箇所を中心に説明をさせていただきます。

施設の効用の発揮の(1)幅広い施設利用の確保につきましては、休館日を条例上の毎週月曜日から毎月第4月曜日のみとしていること、利用料金の設定の柔軟な設定や、フェイスブック等SNSの活用による施設の周知などによりまして、市民の施設利用につなげ、施設利用率が平成27年度から3.1ポイント増加したことから、市の評価はBとさせていただきました。

また、(2)利用者サービスの充実につきましては、提案時にはなかった無線LANによる

パソコンへのインターネット接続環境を整え、利用者の利便性を向上させたことや、利用者意見聴取、自己モニタリングとして、管理運営の基準には示していない第三者評価も実施したことから、市の評価はBといたしました。

(3) の施設における事業の実施につきましては、現代的課題学習に関する講座や郷土に関する事業を計画を上回り実施したことや、新規ボランティアによるミニ講座を実施し、スキル向上や活動企業会計の増加を図ったこと、民間事業者等との協力による講座について計画を上回り実施したことから、市の評価はBといたしました。

次に、(4) 教育委員会事務局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応についてですが、高齢者向けのキャリア教育の支援講座を設けるよう努めることとの平成26年度意見への対応といたしまして、60歳以上を対象とした中高年齢就職セミナーを設けました。

また、多数の応募者があり受講できなかった人が多かった講座についての対応を検討することとの平成26年度意見への対応として、受講できなかった人の多かった初めてのスマホ体験を追加実施したところでございます。

次に、利用者ニーズ・満足度等の把握についてですが、まず、受講者アンケートでは5, 523件の回答があり、いずれの講座等におきましても「満足」と「やや満足」の合計が90%を超える高い満足度を示しております。

また、貸出施設利用者を対象とした利用者アンケートにつきましては7, 908件の回答があり、93%を超える方が「とても良い」、「良い」という高い評価をいただいております。主な意見といたしましては、設備がきれいで、職員の対応が丁寧であるといった内容となっております。

次に、インターネットアンケートにつきましては14件の回答がございまして、市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情とその対応につきましては、「Wi-Fiに接続する方法を部屋に置いておくことさらによい」、「地下の多目的室にホワイトボードがあると便利」、「映像音声加工編集室にカーテンがあるとよい」、「ホームページのづくりが生涯学習センターを知っている人向けでわかりにくい」といったご意見をいただいております。必要な物品の設置等の対応を行ったところでございます。

最後に、総括についてですが、(1) 指定管理者による自己評価につきましては、各種講座・事業を実施し、多種多様な生涯学習活動を推進したほか、施設の積極的なPRや設備改善により、施設利用率が前年比3.1ポイント増となったこと、利用者アンケートの高い評価などによりましてBとなっております。

(2)の市による評価についてですが、まず、評価の考え方は、総括評価の目安のとおり、年度評価シート、5の管理運営状況の評価のうち(1)から(3)における評価項目の市の評価の内容をもって総括評価の目安としております。

市民の幅広い生涯学習ニーズに対応した講座を実施したことや、施設設備の充実、利用方法の改善などにより、講座の延べ受講者数と施設利用率の成果指標の数値目標を2項目で達成したこと、その他、建築物や建築設備等の保守点検や修繕について適切に対応するとともに、自主事業も積極的に行われていたことなどから、市が指定管理者として求める水準等を上回る、すぐれた管理運営が行われていたとして評価をBといたしました。

説明は以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○近藤会長 それでは、まず、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況について、公認会計士でいらっしゃいます岡村委員のご意見をお聞きしたいと思いますので、岡村委員、よろしく願いいたします。

○岡村委員 わかりました。

それでは、ご説明いたします。

例年どおりでございますけれども、決算報告書が正しいということと、情報に漏れないということを前提としてご説明したいと思います。

まず事業報告のほうでございますけれども、読む限り、倒産、事業撤退等リスク要因というのは見当たりませんでした。

次に、本年3月末の貸借対照表、すわなち財政状態でございます。

当年度の負債及び正味財産合計というのが7億8,000万でございます。これは、この団体が持っている資産の金額と同じ金額、7億8,000万なんです。資産合計というのがございますけれども、この総資産に対するこの財団自身の持ち分である正味財産の比率が49%と計算できます。この数字はまあまあ安全性があり問題ない数字かなというふうに見られます。

次に、資産の中身なんですけど、流動資産、基本的に1年以内にお金になるものでございますけれども、この金額が2億8,100万。負債の部の流動負債、1年以内に払わなければならない金額というのは1億5,000万円です。ですので、流動資産のほうは流動負債を上回っているわけでございますけれども、その比率を計算すると185%程度。決して十分だという数字ではないですけれども、まあまあ。

ただ、固定資産の中の基本財産に投資有価証券が1億9,500万でございます。これ、利付国債なので、お金を毀損するようなものではないだろうというふうに見られます。しかも、こ

これは4,000万超の含み益がございますので、よもや何かあった場合にはこれを処分することも不可能ではないということなので、これを流動資産とみなして計算すると、流動比率というんですけれども、313%、結構安全な数字になると思います。ということで、まあ大丈夫じゃないかと思われます。

この財務内容は、当年度と前年度を比較しても、比率等大きな変動はございませんので、この点でも、今後、おかしく動いていくんじゃないかというような懸念はないかなと思います。

正味財産増減計算書、通常会社でいうと損益計算書ですね。動きを示す1年間のフローですね。

経常収益合計というのがございまして、これは9億8,000万です。昨年比べて若干の減収という、減収額が90万ですのでほとんど横ばいですね。

経常費用の計というのがございまして、先ほど簡単なご説明ございましたが減少額は2,000万円です。ちょっと気になるのが委託費が1億6,000万増えるということと負担金が2億減ってるということだったんですけど、これも合理的な説明をいただきまして、特段問題ないということでございましたので、結果として減収少額で費用が大幅に減ったので利益としては2,000万円増えましたというのが1年間の増減です。

結果として、最終の財産増減というのは2,000万円増え、今期1年間の経常損益がプラスになったということでございますので、特段、科目を見てもおかしいところはないんじゃないかというふうに見えます。

監査報告書、監事が監査された結果でございましてけれども、これは無限定の監査報告書がついておりますので、全く問題がないと書いております。

したがって、財務諸表の情報からも撤退等のリスクはないと思われます。

以上でございます。

○近藤会長 ただいまの岡村委員のお話について、ほかの委員の皆様、何かご質問などございますか。

ご質問がないようですので、それでは続きまして、先ほどの事務局からの説明内容への質問や、指定管理者の施設運営のサービス水準向上、業務効率化への方策、改善を要する点などについて、ご意見をお聞きしたいと思います。

委員の皆様、何かご質問、ご意見はございませんか。

○中原委員 形式的な質問なのですが、今回、ABCDEのランクありますね。これは、以前はSABではなかったですかね。

○國方総務課長 モニタリング評価の見方につきましては、今回から、以前はおっしゃるとおりSABであったのを今回からこの評価に変わったということになります。

○中原委員 Cが多いものですから、ちょっとあれっと思って。今回から変えたということですね。

○國方総務課長 そうですね。

○中原委員 はい、わかりました。

○近藤会長 何かございますか。

○尾形委員 すみません。ちょっとお聞きしたいんですけども、モニタリングの結果というものは、データベース化されていくんですかね。

つまり、性別、女性からの回答、年齢層、何歳から何歳までの人の回答みたいな形で、何年度にはこの利用者ではこういうふうな回答だったとかというふうな。

結局、1回聞きました、で、ここで1回その年度の評価として入れましたというだけでは、非常にもったいない気がするんですよ。だから、データベースというか、個人情報が入ってしまうとまずいから、それを個人情報部分をとった形で、せっかくあるものなんだからデータベース化できればいいなど。

○永野生涯学習振興課主事 センターで行われている利用者アンケートですとか受講者アンケートといったものについては、性別とかそういった属性ごとにデータベース化しております。

○尾形委員 いずれにしても、毎年毎年1回で終わってしまうのではなくて、それをずっと積み重ねていくことが後々資料として説得性のある説明のもとになると思いますので、データベース化してあるならばそれで結構です。

○近藤会長 ほかにはございますか。

○宮野委員 全体として、私は、この28年度の生涯学習センター指定管理者の施設管理状況は大変よいのではないかなと感じました。

そして、先ほど岡村先生からは、財務状況を教えていただきました。

2点目としては、ミッションである自主的で自発的な学習活動を特に引き出そうとしていらしゃったなと思いましたし、またそれを実現されているということ、また、他の機関や施設等の連携協力による部分においても大変幅広く多様な専門機関や地域、公民館などとの協力体制が見えるようになってきているなと感じました。

また、第三者評価がしっかりしていると、非常にミッションに応じた形での評価をしていた

だいているのではないかなと思ひまして、この指定管理者が生涯学習センターの活動で実現したい事柄を評価、しっかりとしていただいていたのではないかなと思ひました。

それで、創意工夫を持った受講者の活動を評価しているとか、また管理運営のサービス向上への視点も評価されているというような点で、私は特にその第三者評価を見てよかったというふうに感じたところであります。

幾つかあるのですけれども、全体としてはそのような傾向で、大変これから発展的に広がっていくのではないかなという予感をさせていただけるような、この28年度の報告であったと思っておりますけれども、以上、今申し上げましたことと重なる部分もあるかもしれませんが、私が感じたところですので、これも良好だなと思つたところですが、施設の効用の発揮において、利用者サービスの充実についてインターネット接続の整備がなされていたということ、また第三者評価の実施がそれに対して非常によいものになっていたということ、それから、自主事業の収入状況から見ても、サービス水準向上がすばらしいと思つています。サービスの中でも自主事業の収入というものが上がってきているというようなことを捉えて、私はそう思ひました。

モニタリングの(2)ですけれども、利用料金設定や減免であるとか利用料金の柔軟性というものが、非常にきめ細かく市民の方にサービスをというふうな形で出ていたのは大変よいし、モニタリングにおいて市民もそこにちゃんとよさとして取り入れているということもわかりました。

しかし、やや、やはりインターネットの接続関係でありますとか無線LANの使用についての不満がやや見受けられる。これは、全部満足いくようになるにはかなり大変なことではあるのだと思ひましたが、なるべくそれが少なくなるような方向にいけるといいなと思つた次第です。

それから、高齢者向けの支援講座のことがあつたのですが、これは市の、こちらのほうで申し上げたところが、どのようになったかということで表になっておりましたけれども、就職という形だけでキャリア教育というか、それを考えるというのも、このシニア、高齢者に向けての策としてはどうだろうなと思ひました。もともとやってらっしゃるところプラスということではあると思ひますけれども、もう少し広がりがあるキャリア教育というふうな意味合いで、高齢者のキャリア教育とは何なんだというふうなことで広げて考えてもいいのかなと思ひました。生きがいを得られるキャリア教育内容がもうちょっとあるかもしれないぞと思つた次第です。

パソコンの利用について教えていただいている科目が多くあるのですけれども、スマホ、タブレットとかパソコンを利用した生活とか学習の仕方にそれが利用できるような、そして生涯学習センターと自分が結ばれるというか、つながるといいますか、それから市ともつながるといいますか、そういう生活と密着したようにスマホを使ってというような、あるいはインターネットを通してとか、そういうような認識をもう少し高齢者の方にわかってもらうためのパソコン教室であり、何々でありというのがわかるような科目もいいなと思いました。

情報関連の利用者の不満が非常に多いと思うのですけれども、先ほども申しましたホームページの閲覧ということですが、ホームページもなかなか、私のところも生涯学習を少しやっているわけですが、そこでもやはり出てまいります。だから、これはまたひとつ改善をしていかなければならないことであるかもしれないと思った次第です。

それから、28年度のこのモニタリングレポートの中の施設の適正な管理というところで、(2) リスク管理・緊急時対応に対して訓練などはどのようにされているのかなというのを知りたくなってきたわけですね。これには、多分マニュアルがとおりになっているのではないかともしましたが、マニュアルの資料なども提供してもらったほうが良い気もいたしました。時代が時代でいろいろ起きますので、あったほうがいいのかもしいかなと思いました。

それから、私は音楽が一応専門になっておりまして、音楽関係のことについて、自主事業のところなんです、私の目で見ると魅力的であると思いました。生涯学習センターとして市民のニーズをうまく引き出されておられるなというのを、この資料から見ることができました。

その中で、新たに音楽コンクールというのがありますが、非常に興味を持ち、関心を持ったところではありますが、生涯学習センターでやるその音楽コンクールは、千葉日報さんがおやりになるということですが、できるだけ生涯学習という観点からのコンクールとしないかなと、今期待をしているところです。そのためにも、音楽室のピアノの調律がどうもされていないというような、モニタリングの中に市民の方の意見がありました。きっと多くの方がピアノをお使いになっていらっしゃるんでしょうね。そうしますと、やはりモニタリングには好きなことを書くというのがあると思いますけれども、調律はもうそろそろしたらいいのかなと、音楽コンクールを目指すならばというようなことも感じたことの一つです。調律はやっていただきたいなと思いました。

その音楽コンクールですが、私は、生涯学習センターでなさっていただけるのであれば、音楽コンクールの対象を家族であるとか仲間であるとか何十代であるとか、いろんなそういうような切り口で考えていただけたら、私も聞きに来たいというふうに思った次第です。

それから、あと少しなんですけど、お願いがございます。

私どもも生涯学習のちょっと端くれをやっておりますけれども、大変ありがたいことに生涯学習センターのボランティアの方に、こちらの放送大学のほうに来ていただいております。放送大学を知っていただくということで来ていただき、多分去年は9月ごろに来ていただきました。そして、できれば放送施設も見えていただきたいのですが、センターも見えていただきたいと思っています。

ただ、センターは面接事業という事業がある期日は、1学期と2学期あるんですけども、ちょうど9月はお休みの日になっておりまして、面接事業は10月から始まるので、ぜひともそういう学生数が多いときに来ていただくとありがたいなというふうにも思いました。それから、サークルもありますので、多分そういうお話でボランティアの学生さんともお話をさせていただけたらありがたいと思っておりますので、もしもいらっしゃるときには、多分本部のほうにお電話が来るんだと思いますけれども、こちらのほうにもお電話いただきまして期日を合わせていただいて、私たちが勉強したいので、そのようにぜひともお願い申し上げます。

よろしく願いいたします。

○岡村委員 今おっしゃっていただいた意見に同感ですね。

私もちょっと音楽をやしまして、ピアノの調律に関しまして、調律が悪いともう使えないです。はっきり言って。調律は数万で済むんですよ。

○宮野委員 はい、そうです。2万以内。

○岡村委員 ですよ。だから、ぜひと思うんですね。

先日、何度かちょっと聞いたら、戦時下のドイツのピアノだったんですけども、今でも完璧です。調律ちゃんとやってるんですけども、多分やってますよね。

○山田生涯学習振興課長 調律に関しましては、年4回やってはいるんですが、ピアノ自体がちょっと古いのかもしれない。一応調律はやってはおりますが、備品の管理につきましては、市民の方が利用される備品ですので適切に管理していきたいと思っております。

○宮野委員 そうですね。年に2回でも大丈夫なんですよ。毎年やっていけば、4回やったらかなりよろしいですね。

○岡村委員 今のところにつながるんですけども、いつも文句ばかり言って申しわけないんですけども、意外と特定のところに対する不満が目についたんですよ。アンケートはすごくよくやってくれたというのがほとんどなんですけれども。空調はもちろん全館統一というのはしょうがない。けれども、対応されていると思うんですけども、ここに記載されている改善

は、購入や運営の参考にさせていただきますというのが結構あり、すぐ直すというのがあまり見えてこないんですよ。

ほかのところへの対応も含めて、非常にちゃんとやっているというのはあるんですけども、特定のところについて、改善・対応策のところを見ると、どうも改善するような、ぱっとやるというふうに見えなかったの、そこはぜひやってもらいたいというのが正直。文句言う人はいないかもしれませんが。

○山田生涯学習振興課長 アンケート、いただいたご意見につきましては、なるべく改善できるように努力してまいりたいと思っております。

○岡村委員 あと1つ質問させていただきたいんですけども、さっき第三者評価ありましたよね。これは、第三者の選定ってどうやったんですかね。

褒めていただいているので、悪いことは書いていないので、どのように選定されたのか。この財団がみずから選定されたんですかね。どういう人、大学の先生ですか。

○山田生涯学習振興課長 一応、大学の先生にお願いしまして。

○岡村委員 こちらから。

○山田生涯学習振興課長 いえ、生涯学習センターで、やっていただいたんですが。

○岡村委員 どういう方ですかね。専門の方ですかね。

○西森生涯学習振興課主査 評価していただいた先生は、八洲学園大学の浅井教授という方になります。

八洲学園大学は、2004年に開学した横浜市にある通信制の大学でして、先生は、専門が生涯学習と社会教育の関係が専門で、生涯教育学会の常任理事も務めていらっしゃる方です。その方に評価をしていただいて、報告書にあるような内容で評価をしていただいたという状況でございます。

○岡村委員 ということは、いろいろ見られているから結構いいほうだということなんですよ。かなりハイレベルな。わかりました。

もう1点、モニタリングの最後のところですね、これはモニタリング確認されたと、現地視察ということをやられたということですけども、これ1日しか行ってないんですかね。

○永野生涯学習振興課主事 モニタリング、詳細については、日にちとしてはこの1月17日ということでそれで記載はさせていただいているんですけども、ほかにも月次の報告をしていただく際には、隔月で生涯学習センターに行っておりますので。

○岡村委員 でしょう。

○永野生涯学習振興課主事　そうですね、すみません。失礼いたしました。

○岡村委員　要するに、さっきのもそうなんですけれども、やり方の十分性というのがきちっと見えないと、その結果を信頼できないというふうに見えたんですけれども、きちっと見られたということですね。なるほど。

何か、マイナスないですか。改善点。これでいいですよと言っちゃうと認めたことになっちゃうので、もっと見直してほしいとさっき先生おっしゃいましたけれども。

何の改善したらよくなるかというのが、もっとよくなるんじゃないかというのが、数字のほうからあまり見えなかったです。その辺ぜひ、指定管理事業者に言っていただければいいんですけどもっと上目指してくださいとか。

○山田生涯学習振興課長　例えば、成果指標の目標値に対する達成状況ということであれば、例えば、ボランティアコーディネートが260件という目標に対しまして231件という実績にとどまっているということで、ここら辺はまだ達成できていませんので、今後、件数を増やして充実していけるようにしていきたいなというところと、あとは生涯学習センターで行っている事業の周知方法とか、その辺も広く市民の方にセンターではどういうことをやっているんだということを、今、ホームページにはいろいろ載せてはおりますけれども、さまざまな媒体でもっと周知していきたいというふうには思っています。

○岡村委員　たしか、ホームページを訪れている人、減ってたんですけど。違いましたっけ。記憶がないんですけど。さっきの周知のところ。

○山田生涯学習振興課長　モニタリングについても、インターネットのモニタリングアンケートの回答数がちょっと少ない状況ですので、そこら辺も含めてPRというか周知をしていきたいと思っております。

○岡村委員　そうですね。さっきの無線LANでもそうなんですけれども、あれはあって当たり前ですもんね。見方によってはですよ。だから、それを評価の根拠にするのもいかなものかという見方もできるわけですよ。もちろん、やってくれるのはすごくうれしいんですけども。よくやってるだろうって、そっちの何かニュアンスしかでてこない。

○山田生涯学習振興課長　そこら辺は提案書に基づいた評価ということで、一応プラスの評価させていただきましたが。

○近藤会長　何かございますか。

○中原委員　ちょっと、今回は昨年度の評価ですね。このAやBの評価は、公開されるのですか。

○山田生涯学習振興課長 はい、公開でございます。

○中原委員 公開ですね。

だから、私がこだわるのは、自己評価でC評価が結構あり、市の評価では、CとBの評価があり、総括的にB評価となっています。いや、別にこれが悪いことではありません。

ただ、ぱっと見て、BかCのきわどい評価なのかなと感じます。我々、学校の成績入力では、80点以上だと優とか、点数で厳格に評価します。この評価は、ちょっとわかりづらいかなど。この基準の格差はわかりますが、もうちょっとわかりやすい評価基準がないのかなと思います。

ただ、印象的に何かBよりもC評価が多くて、ちょっとどうなんでしょうか。ただ、印象的にどうかなというのが感想です。

○山田生涯学習振興課長 一応、今回の全体総括の評価をBとしておりますが、これにつきまして、各評価項目の20%を超える項目について、一応Bであったということと、DとかEがなかったということで、今回、総括で一応Bという評価をつけさせていただいております。

○中原委員 もちろん、その基準に照らしたら別に問題はないのですが、わかりやすいかなという、ただそれだけです。

○宮野委員 1つだけなんですけれども、この資料はずっと残っていきますか。

現代的課題学習、(2)なんです、基本方針のところ①②③、これ大切なものですよというのがあるんですが、①②③とあるんですが、次のページの①②③というのはこれとは関係がないのだということが読んでいってわかってきたんですけれども、ちょっと紛らわしいかなと思うのです。

なので、ちょっとそここのところの表記だけ、もし残るのであればと思いましたので、よろしくお願いします。

○山田生涯学習振興課長 わかりました。ありがとうございます。

○近藤会長 特にこの評価はどういう形に並べたほうがわかりやすくなりますかね。番号だけだとちょっとわかりづらいですかね。

○山田生涯学習振興課長 ちょっと一見すると番号が対応しているようなふうにも見えるんですが、実は対応してなくて、ちょっと紛らわしい部分もございますので。

○宮野委員 数字を変えて。

○山田生涯学習振興課長 はい。改善していきたいと思います。

○岡村委員 教えてほしいんですけれども、今、評価のところなんですけれども、これが公表されるということですか。

○山田生涯学習振興課長 はい、公表されます。

○岡村委員 自分の評価より市が上げたというふうになりますよね。そういうふうに見えるんですけども、その説明。もういいよというふうに見える、違いますか。いいんですかね。そういうものですかね。ちゃんとやっていますよって、あるいは、こっちがこう、根拠を考えたという、それも見られませんか。

○國方総務課長 よろしいでしょうか。

自己評価と市の評価についてですが、自己評価の部分は、特にすぐれた管理運営を行われたですとか、Bですとすぐれた管理運営、おおむね管理運営の基準とかという、そういう文言での5段階評価になります。

市の評価については、評価の目安というのを点数化していきます。それを平均値をとって算出した後に、平均値がプラス1.5以上かつモニタリング結果にもバツがない場合にはAなどの基準がございますので、お互い同じルールの中でABCDEをつけているというわけではないということになります。

このような形での違いがABCDEの5段階に出てくるということはありません。

○岡村委員 誤解しますよね。

○近藤会長 同じABCなのでわかりづらい。

ぱっとこれを見たときに、市のほうがいいのか、いい評価をしているのだなという、そういうふうに見たときには思ってしまうという。

○國方総務課長 指定管理者モニタリング評価マニュアルで、今回新しく3段階から5段階にした見直しに当てはめたという形です。

○尾形委員 岡村委員が言ったように、これが公表されると、普通の一般の人が見た場合は、ABCの。何かもっと工夫していかないちょっと。

○國方総務課長 公表段階ではそういった説明について検討していければと思います。

○尾形委員 横に並べるとはっきりします。

公表することはいいことなんですけれども、誤解を招くのは避けたいなと思いますね。

○近藤会長 基準が違うので。基準が一緒であれば同じABCDEという評価の仕方でのいいのかなというのは特に思います。

最初に見たときに、モニタリングだとかアンケートだとかいいこといっぱい書いてあったし、Wi-Fiを、あれはいいなと私なんかも不便なことがあったので、そういう環境が整ったんだとかというのはとても評価できるなと思っていたんですね。先ほど、やっぱり気になった

ところは、ピアノのところはとても気になって、せっかく音楽の講座やってるのに、それがその後どうなったんだろうなというのがこの資料だけでは見えなかったもので、ちょっとその辺はやっぱり、同じようなところがやはり引っかかってたんだなと思ったんですけども、全体的にはとても努力してくれていていいなというふうには私は判断したんですけども、今の自己評価と市の評価というところ、同じ評価のテーブルの上だと思っていたので、市のほうが結構いいのかなというふうに感じたのは率直な意見。

今、ご説明いただいたので。

ほかに何かございますか。

○岡村委員 さっき、対応してくれたと応募者の意見がありましたよね。我々、指定管理者選定評価委員会の意見を受けて。（４）多数の応募者があって受講できなかった人、ございましたよね。意外とまだものすごく応募者があったところ、結構あったように見えたんですけども、その後もう１回何かやったということなんですか。違うんですかね。受講できなかったというの、数だけずらっと見てたんですけども。改善した結果、これだったんですかね。違うのかな。高齢者の方が意外と多かったように思いましたけれども。

○大崎生涯学習部長 これは、２７年度の選定評価委員会においてご指摘を受け、２８年度にこの講座を追加で実施するようにしたものです。

施設利用率が向上しており、追加で講座を設定するというのは非常に難しい状況にあることから、当初予定していた講座が例えば中止になったところにそのような講座を入れるだとか、いろんな工夫をしながら対応をしていくような形になろうかなと思っています。

○岡村委員 引き続きやってくれと。わかりました。

○中原委員 多分、今年度の指定管理事業者は、相当やっていると思うんです。

ただ、来年度の評価ではさらにステップアップしていかないといけないということでしょう。企業もそうですが、終わりが無いということです。

○近藤会長 何かございますでしょうか。ご意見、よろしいですか。

では、意見がないようですので、議題（２）に関して委員からありました意見などは、答申案として事務局にまとめていただきたいと思います。

私からの提案ですが、今回の審議に基づく答申について、事務局がまとめた答申案と、今回の会議の議事録案とあわせてお送りし、委員の皆様から個別にご意見をお聞きした上で、私が承認して本委員会の答申として決定とするということにしてはいかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○近藤会長 それでは、事務局がまとめた答申案について、委員の皆様から個別にご意見をお聞きした上で、私が承認して本委員会の答申として決定とすることといたします。

それでは、次のその他ですが、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○近藤会長 よろしいですか。

私からの質問ですが、今後の予定について、事務局から何かありますか。

お願いいたします。

○國方総務課長 今後の予定についてでございます。

8月9日水曜日に第2回の会議を開催する予定でございます。千葉市公民館の指定管理予定候補者の選定について審議していただく予定でございます。

なお、第2回会議は選定に係る会議であるため非公開とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○近藤会長 よろしいですか。皆様、いかがですか。

○岡村委員 特段、条例上等、問題ないんですね。非公開にして。

○國方総務課長 非公開にすることは問題ありません。

○岡村委員 わかりました。

○近藤会長 それでは、第2回会議は非公開といたします。

そのほか、委員の皆様からご意見やご質問はございますか。

皆様方のご協力によりまして、本日の議事は全て終了いたしました。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

○大須賀総務課長補佐 長時間にわたるご審議、ありがとうございました。

以上をもちまして、平成29年度第1回千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会を閉会いたします。